

平成27年度エネルギー対策特別会計補助事業検・評価委託業務（低炭素地域づくり推進等事業）に係る企画書等審査基準及び採点表

委員名：

提案者名：

企画書作成事項		審査項目	審査基準	配点		得点
1	業務に対する理解度 (別紙様式A)	補助事業の検証・評価業務に対する理解度	高効率設備等の導入による二酸化炭素削減効果の算定のために必要な情報及び具体的な算定方法が記載されており、専門的知見の有無と理解度を評価する。	5	5	
2	業務実施方法等の提案 (別紙様式B)	仕様書（骨子）2. （5）に関する業務	二酸化炭素削減効果等の把握のために行う現地調査において確認・聴取する事項について具体的に記載されており、実現性、有効性などの観点から妥当であるかを評価する。	15	45	
		仕様書（骨子）2. （6）に関する業務	得られたデータから改善提案を行うプロセスについて具体的に記載されており、実現性、有効性などの観点から妥当であるかを評価する。	10		
		仕様書（骨子）2. （7）に関する業務	対象事業の費用対効果の傾向を考察するに当たっての実施方法、及び費用対効果の悪い対象事業の原因分析方法が具体的に記載されており、実現性、有効性などの観点から妥当であるかを評価する。	10		
		仕様書（骨子）2. （8）に関する業務	地域内経済への影響を評価するために必要なデータの種類及び評価の具体的な実施手法について具体的に記載されており、実現性、有効性などの観点から妥当であるかを評価する。	10		
3	業務実施フロー (別紙様式C)	業務遂行の確実性	業務が無理なく実施できるかどうかについて評価する。	10	10	
4	業務実施体制 (別紙様式D-1, 2)	配置予定の管理技術者の経歴、手持ち業務等	配置予定の管理技術者の実務経験の内容等を評価する。また、配置予定の管理技術者の手持ち業務は5件以上を不可（0点）とする。	10	20	
		業務の内容ごとの業務従事者の配置、役割分担等	業務内容ごとに適切な業務従事者を配置し、かつ業務が無理なく実施できる業務実施体制が構築されているかを評価する。	10		
5	業務実績 (別紙様式E)	過去における検証・評価業務の実績又は国の補助金の交付業務若しくは支援業務を行った実績	左記業務実績が1件以上あれば可（2点）とし、以降は件数、業務概要に応じて加点する。	10	10	
6	組織の環境マネジメントシステム認証取得状況 (別紙様式F)	事業者の経営における事業所（本社等）において、ISO14001、エコアクション21、KES、エコステージ、地方公共団体による認証制度などのうち、第三者による環境マネジメント認証取得の有無、有の場合は認証の名称を記載し、証明書の写しを添付すること。ただし、企画書を提出する時点において認証期間中であること。	事業者の経営における主たる事業所（本社等）において、環境マネジメント認証取得があるか。1つでもあれば加点（5点）する。ただし、企画書を提出する時点において認証期間中であること。	5	5	
7	見積価格・積算内訳 (経費内訳書)	提案内容に対する価格の妥当性及び経費内訳の妥当性を評価する。		5	5	
合 計				100		点

注1）企画書等において、提出者の外部協力者へ再委任又は共同実施の提案を行う場合、業務における総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分を外部に再委任等してはならず、そのような企画書等は不合格として、選定対象としないことがある。

注2）積算内訳書において、再委任に係る外注費が見積価格の1/2以上である場合は、不適切として、選定対象としないことがある。

【採点基準】

(5点満点の場合)

- ・優（十分満足できる） 5点
- ・良（満足できる） 3点
- ・可（満足できるレベルよりやや劣る） 1点
- ・不可（満足できない） 0点

(10点満点の場合)

- ・優（十分満足できる） 10点
- ・良（満足できる） 6点
- ・可（満足できるレベルよりやや劣る） 2点
- ・不可（満足できない） 0点

(15点満点の場合)

- ・優（十分満足できる） 15点
- ・良（満足できる） 9点
- ・可（満足できるレベルよりやや劣る） 3点
- ・不可（満足できない） 0点